

令和 7 年第 4 回 仙台市入札等監視委員会 会議録

【署名】

平岡 智広

押印  
掲載を省略

1 日時 令和 7 年 11 月 7 日 (金) 15 時 00 分 ~ 16 時 30 分

2 開催場所 仙台市役所本庁舎 8 階 第一委員会室

3 出席委員

蘆立 順美 委員

石川 宣子 委員

鍵屋 浩司 委員

平岡 智広 委員

米谷 康 委員

(50 音順 敬称略)

4 説明等のため出席した者の職・氏名

財政局 財政部 契約課長

渡邊 信一

財政局 財政部 契約課 主幹兼工事契約係長

関本 英嗣

財政局 財政部 契約課 管理係長

相澤 文

都市整備局 技術管理室 技術企画担当課長兼被災地支援担当課長

渡部 昭彦

水道局 総務部 財務課長

林 雄次

水道局 総務部 財務課 契約係長

三浦 正浩

水道局 給水部 西配水課長

井上 信彦

水道局 給水部 西配水課 維持係長

大江 明

交通局 総務部 財務課 課長

相澤 俊宏

交通局 鉄道技術部 電気課 課長

大沢 敦成

交通局 総務部 財務課 契約管財係長

高橋 賢士

ガス局総務部財務課長

大槻 憲幸

ガス局総務部財務課契約係長

根本 大助

ガス局供給部導管管理課長

今野 彰

ガス局供給部導管管理課主幹兼導管設備係長

古山 秀樹

ガス局製造部港工場管理係長

馬場 敏大

## 5 会議の経過

### 【1】開会

### 【2】議事の経過及び内容

進行： 蘆立 順美 委員

会議録署名委員： 平岡 智広 委員

#### (1) 工事に係る入札及び契約の手続の運用状況について

事務局より、「入札方式別発注工事総括表」(会議資料 P.1)、「入札方式別発注工事一覧表」(会議資料 P.2~16)、「指名停止の運用状況一覧表」(会議資料 P.17)に基づき報告。

#### 【質疑応答】

##### 工事契約及び指名停止の状況

論点等	発言者	発言内容
指名停止理由及び指名停止期間について	委員	案件2について入札・契約行為以外の行為についても、要綱第22号を適用させるということか。また、指名停止期間はどのように決めているのか。
	事務局	要綱第22号の適用についてはお見込みのとおり。指名停止期間については当市では基本的に要綱に定められている下限の期間を適用しており、本件についても同様である。

#### (2) 事案の抽出及び審議事案の選定について

1) 事務局より、今回審議対象となる123件の工事のうち、石川委員が事前に抽出した「入札方式別発注工事抽出事案」10件を報告。(詳細は資料P.19参照)  
なお、その際案件の抽出に関し、次の質疑がなされた。

2) 委員会において、1)の10件のうち本日審議する事案として以下の6事案を選定。

#### 【選定事案】

##### ◆制限付き一般競争入札

②仙台市広瀬文化センター等複合施設大規模改修電気設備工事 (石川委員抽出)

④水の森公園法面防災工事 (石川委員抽出)

⑤(仮称)長喜城東公園施設整備工事 (平岡委員抽出)

⑥水西配配第2025-1号口径800 粕国見第二配水幹線(旭ヶ丘三丁目地内)受口修繕工事 (鍵屋委員抽出)

⑧港工場エネルギーセンター改修工事（石川委員抽出）

◆随意契約

⑨令和7年度 第2排水処理施設汚泥貯留ホッパー改修工事（石積）（米谷委員抽出）

（3）抽出事案の審議

【質疑応答】

「②仙台市広瀬文化センター等複合施設大規模改修電気設備工事」について

論点等	発言者	発言内容
予定価格と入札価格が同額であることについて	委員	本件は入札全者が同金額での入札となっているが、こういったことは起こりえるのか。
	事務局	起こりえる。本件は予定価格事前公表の案件であることと、失格基準価格の設定方法が予定価格の92%を超える額となった場合は92%とし、75%を下回った場合は75%とすると要綱で規定されており、業者は自身の積算過程でそれを理解し、同価格で入札してきたと考えられる。
総合評価の評価値が同点であることについて	委員	総合評価についても評価値が3者同点というのは起こりえるのか。
	事務局	起こりえる。一定以上の技術力や会社規模等になると点数的に差がつきにくいことがある。
工期について	委員	本件は案件番号1の関連工事となっている。案件番号1と工期が同じとなっているが、違う種類の工事でも同一の工期となるのか。
	事務局	発注時点では余裕を持った工期で設定している。業者決定後に現場の取り合いなどの調整が入ることにより、結果的には同じ工期にはならないと考える。
総合評価制度について	委員	総合評価で評価値が同点になった場合、特定の項目を重視して順位付けする等の制度は導入可能なのか。
	事務局	現時点では国の総合評価マニュアルに基づき実施しているため、そういう制度は導入していない。例えば、技術力を重視する等の改正は検討ていきたいと考えている。

「④水の森公園法面防災工事」について

論点等	発言者	発言内容
失格理由について	委員	本件では4者が失格となっているが、失格理由としては、直接工事費を下回っていたため、失格となったのか。また、総額判断基準価格を上回っていれば、費目内訳の確認は行わないのか。
	事務局	4者の失格理由は直接工事費を下回ったためである。また、総額判断基準

		価格を上回れば費目内訳の確認までは行かない。失格基準価格や総額判断基準価格は事前に公表するものではないため、業者による類推はできないと考えている。
--	--	---

#### 「⑤（仮称）長喜城東公園施設整備工事」について

論点等	発言者	発言内容
失格者数について	委員	本件について多くの入札があったが、失格業者が多く結果的に有効札が3者になっている。予定価格の積算について業者との相場感の乖離はなかったのか。
	事務局	予定価格については、規定等に則り積算をしている。本件は多くの業者の入札がある案件であり、競争が強く働いた結果失格業者が多くなつたと考えている。
総額判断基準価格について	委員	総額判断基準価格を上回っている場合、費目内訳の確認までは行わないとのことだが、入札のあったものについてすべて確認することは難しいのか。
	事務局	総額判断基準価格を上回っている金額であれば、適正な品質が確保されているという前提での制度になっているところであり、業務上の事務負担とのバランスを踏まえた運用となっている。

#### 「⑥水西配配第 2025-1 号口径 800 粕国見第二配水幹線(旭ヶ丘三丁目地内)受口修繕工事」について

論点等	発言者	発言内容
参加条件について	委員	本件は2回目の入札ということだが、参加条件等は変えず、公告する時期だけずらしたということか。
	事務局	本件と同様の口径400糀以上の管工事については、十分な入札参加者数を確保する観点で1回目から所在地要件を市内営業所と設定しており、さらなる要件緩和は行わなかった。 水道局の案件については、令和5年度から不調が続いており、令和6年度も同様の状況だった。原因として技術者不足があり、案件の発注があっても業者側で他の現場を抱えて技術者を確保できずに入札できない状況があるため、業界側と意見交換を行いつつ、発注時期の平準化に取り組んでいるところである。
技術者不足について	委員	技術者不足について業界の方ではなにか対策を講じているということはあるのか。
	事務局	業界の広報からは、就活学生への広報活動を行っているという話は聞いている。実際の効果については確認していない。

施工箇所について	委員	水道管の更新工事は市内各地で必要かと思うが、実施箇所はどのように決めているのか。
	事務局	布設した時期が古いものから順次更新を基本としつつ、漏水履歴などを踏まえたリスク分析も加味した優先順位を付けて決定している。

#### 「⑧港工場エネルギーセンター改修工事」について

論点等	発言者	発言内容
参加条件について	委員	入札条件の施工実績に「平成22年度以降の元請」とあるが、平成22年度以降としているのはなぜか。
	事務局	仙台市での確認に使用している公共工事登録制度「コリンズ」のデータ保持期間が15年のため。
落札業者について	委員	本件の落札業者は当該建物の当初施工業者と同じ業者なのか。
	事務局	異なる業者である。

#### 「⑩令和7年度 第2排水処理施設汚泥貯留ホッパー改修工事（石積）」について

論点等	発言者	発言内容
建て替え予定について	委員	当該施設の新規建て替えの予定等はあるのか。また、定期的な更新が必要なものなのか。
	事務局	新規建て替えについては、後日回答させていただく。本設備については15年～25年程度で更新が必要なものである。
定期メンテナンスについて	委員	本設備の定期的なメンテナンスについても同一の業者と契約しているのか。
	事務局	お見込みのとおり。
特命理由について	委員	本案件については、本契約業者しか履行できないという理解でよろしいか。
	事務局	独自システムの仕様や過去のメンテナンスデータを保有しているのが本契約業者しかおらず、他の業者の履行は難しいと考えている。
随意契約について	委員	仮に、特命先の業者が事業譲渡等で変更になった場合等はどうなるのか。
	事務局	事業承継先の業者に以前と同様に業務が履行可能か確認して判断することとなる。難しい場合は通常の入札という形も考えられる。

以上のはが「全体を通しての質疑」について

特に質問はなかった。

(1) 今後の予定に関して、事務局から各委員に次のとおり依頼及び通知した。

- ① 次回の抽出委員は平岡委員に依頼する。
- ② 次回の委員会の日程は、令和8年1月の予定である。

7 閉会